

富士河口湖町 教育センターだより



平成 22 年 7 月 10 日

「富士山を知ろう」... 授業公開を実施

「地域を愛し、地域に誇りを持つ」という観点から、町の教育センターの事業として何ができるか。特別研究員の先生と考えた結論が、「富士山をもっと知ろう」でした。数年前から、山梨県・静岡県で富士山の世界文化遺産登録の動きも出ています。富士河口湖町役場にも富士山世界遺産推進室が立ち上がり取り組んでいます。そんな中、子ども達がいつも見ている富士山について、もっといろいろな角度から学習していくことも必要ではないかと考えました。各学校でも、総合的な学習の時間や社会、理科等の授業の中で、富士山を扱っています。しかし、富士山について多方面から、深く学ぶということは少ないのではないかと考えました。そこで、その先駆的实践研究の場として、「富士山を知ろう」というテーマのもと、研究授業を特別研究員の小山博史先生（小立小学校在勤）に実践していただきました。授業の途中に、山梨県企画県民部世界遺産推進課の富士北麓分室の小池正幸先生に、富士山の溶岩を使っての水の浄化の実験やお話をしていただきました。毎日目にしている富士山ですが、様々な問題をかかえ存在していることを、子ども達が少しでも理解してくれたら、それが広がっていったら、大きな財産になると思います。最後に町長さんからも素晴らしいお話をいただきました。富士山は私達の宝だ。ここ小立にも歴史や宝がある。みんなの家にも、それぞれ宝がある。大切にしていこう。心に染みるお話でした。



小立小学校 4年2組の子ども達

6月30日〔水〕5校時、授業参観とタイアップして行われました。センターを発信として、町長さんをはじめ、町議会のみなさん・教育委員のみなさん・各学校の研究員の方々等総勢25名ほど授業を見にきてくださいました。多くの大人に囲まれての授業でしたが、子ども達は物怖じすることなく、生き生きと授業に参加していました。小山先生が長年授業で使用している個人所有の電子黒板にも熱い目が注がれていました。近い将来多くの学校でも使用されることが予想されます。新しいものを教育のために率先して活用していく姿に、授業同様、感慨しました。



ここに生まれて生活できてよかったと思いました。子ども達もここで生まれ育ったことがどんなに素晴らしいことか、幸せなことか、大人になった時実感できればいいなと思いました。そのためには、私達大人が今できることを、子ども達に教えて、一緒に大切にしていかなければならないと思いました。

子どもや親や先生方の感想



子ども

富士山の水はとてもおいしくて、消毒しなくても飲める。富士山はすごい。これからは水を汚さないようにしたい。

水は大切だと思った。工夫して、水を少なく使うようにしよう。富士山はみんなものだと思った。

電子黒板の有効性が示され、教科によってはその活用がきたいされます。

電子黒板を使って立体的な授業ができ、子ども達はとても楽しそうでした。



先生

ゲストティーチャーや町長さんの登場、とても良かったです。

親

